



「名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー 2 号投資事業組合」の創設について

【概要】

国立大学法人名古屋大学、国立大学法人岐阜大学、国立大学法人豊橋技術科学大学、国立大学法人名古屋工業大学および国立大学法人三重大学と、Beyond Next Ventures 株式会社とは、東海地区の大学に由来するベンチャーに投資するベンチャーファンド「名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー 2 号投資事業組合」（通称「名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー 2 号ファンド」）を、2019 年 2 月 22 日に設立いたしました。

本ベンチャーファンドは、2016 年 4 月に、日本ベンチャーキャピタル株式会社と設立した「名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンド」に続く第 2 号ファンドで、第 1 号ファンドと同様、東海地区にある複数の大学が 結集し、民間ベンチャーキャピタルとの連携によって破壊的イノベーションの実現を目指すもので、大学発ベンチャーの起業支援からアントレプレナーシップ教育までを行います。

【概略】

「名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー 2 号ファンド」は、第 1 号ファンドに続き、大学の重要なミッションの一つである研究成果の社会実装を実現し、その効果的な形態であるベンチャービジネスを成功させるためのファンドです。主たる投資先としては、5 大学（名古屋大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、三重大学）に由来する

- ① 研究シーズによって起業したベンチャー
- ② 研究成果を導入あるいは導入予定のベンチャー
- ③ 卒業生や在学生在が創業または役員を務めるベンチャー

を対象としています。官民ファンド、過去に設置された大学ベンチャー支援ファンドとは異なり、東海地区広域の複数の大学が協力して人材や知的財産等の資源を結集し、民間ベンチャーキャピタルとの連携により破壊的イノベーションの実現を目指すことを特徴としています。

以上